

第4回 多摩市街路樹よくなるプラン改定委員会 市民アンケート結果・街路樹ワークショップの報告



平成30年1月12日（金）
多摩市都市整備部道路交通課

議事1: 第3回委員会における意見とその対応

議事2: 市民アンケート・ワークショップの報告

議事3: 方針を実施させるための取り組み

- (1) 課題対応の基本的な考え方
- (2) 課題別の取り組み
- (3) 改善モデル区間の選定及び改善策
- (4) 実施体制

議事4: 方針を実現させるためのプログラム

- (1) 施策の枠組み
- (2) 実施の流れの考え方

議事5: 検討委員会の進め方・スケジュール

- (1) 委員会・WSの進め方・スケジュール
- (2) 素案とりまとめについて

2. 市民アンケート・ワークショップの報告

(1) 市民アンケート調査について

目的: 市民の多摩市の街路樹に関する認識や考え、嗜好等を明らかにすることにより、街路樹よくなるプランの改定版作成の基礎資料とする

対象: 18歳以上の多摩市在住の市民 840名

期間: 平成29年10月19日～11月10日

回収: 178名 (21%)

2. 市民アンケート・ワークショップの報告

(2) 市民アンケートとりまとめ方法について

1次集計:

①全設問に関する**単純集計**

⇒回答の傾向性の把握

②**具体的な場所**や記載された箇所の整理(問2,12)

⇒記載の多い場所、通りの明確化

2次集計:

①**回答者特性 × 街路樹に関する設問のクロス集計**

(**年齢 / 居住暦 / 居住地域**)

⇒どのような方が何を考えているのか

②**その他の回答のタイプ区分・集計(問18)**

⇒**魅力/問題点**

2. 市民アンケート・ワークショップの報告

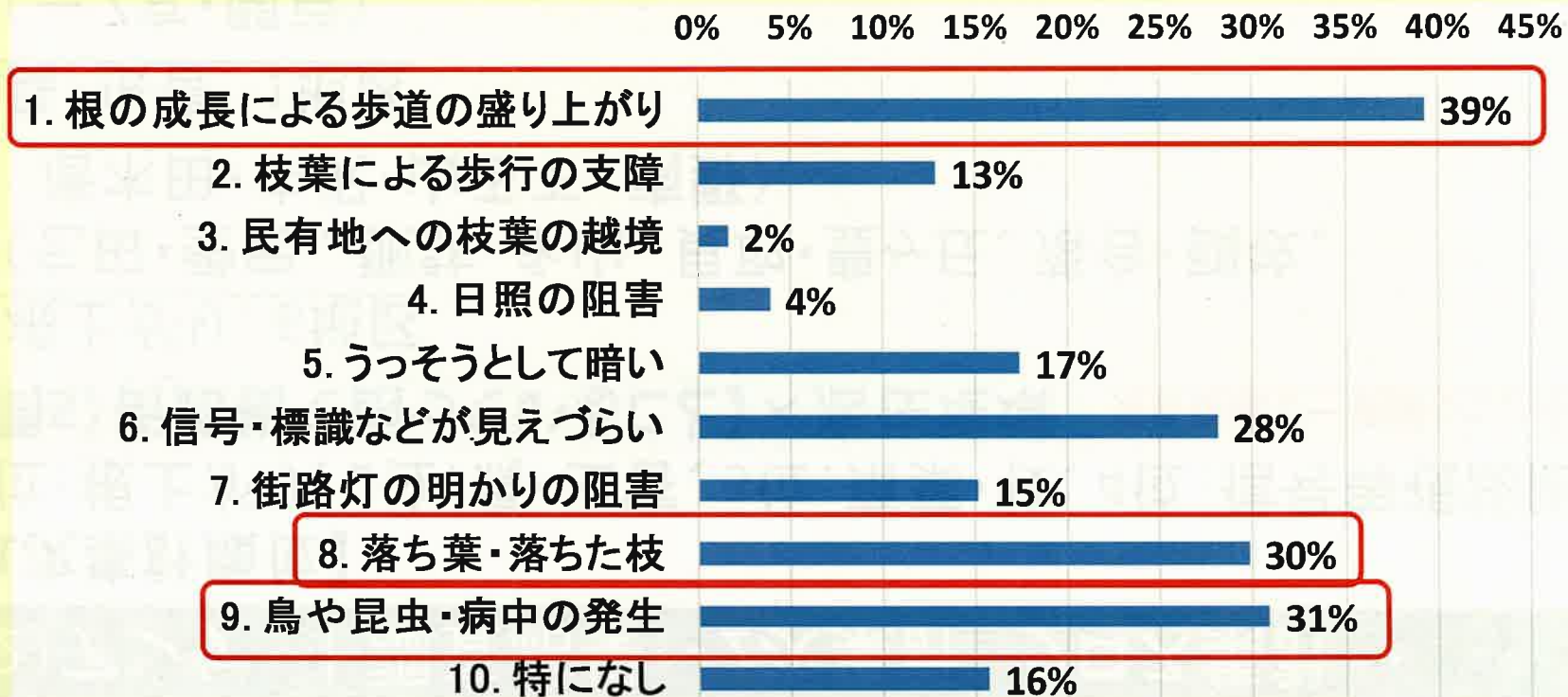
(2) アンケート調査結果～1次集計～

【問1) 街路樹が美しい、または好きか】

はい:81% いいえ:4% どちらでもない:12%

【問5) 街路樹で困っていること】

(複数回答:3つまで)



⇒市民の多くは街路樹が好きである一方、街路樹に困っている。

2. 市民アンケート・ワークショップの報告

(2) アンケート調査結果～2次集計 クロス集計～

【1次集計順位】

1位:根上がり、2位:鳥・虫害、3位:落葉・枝、4位:信号等視認阻害

【問5)街路樹で困っていること】×居住地域 ※各地域で一番困っていること

1.根上がり: 6地区

(乞田・愛宕、諏訪・永山、貝取・豊ヶ丘、落合・鶴牧、
唐木田・中沢・山王下、南野)

9.鳥・虫害: 1地区

(一ノ宮・関戸)

8.落葉・落枝: 3地区

(和田・百草・落川・東寺方、連光寺・聖ヶ丘・馬引沢、南野)

6.信号・標識の視認阻害: 1地区

(桜ヶ丘)

【参考】

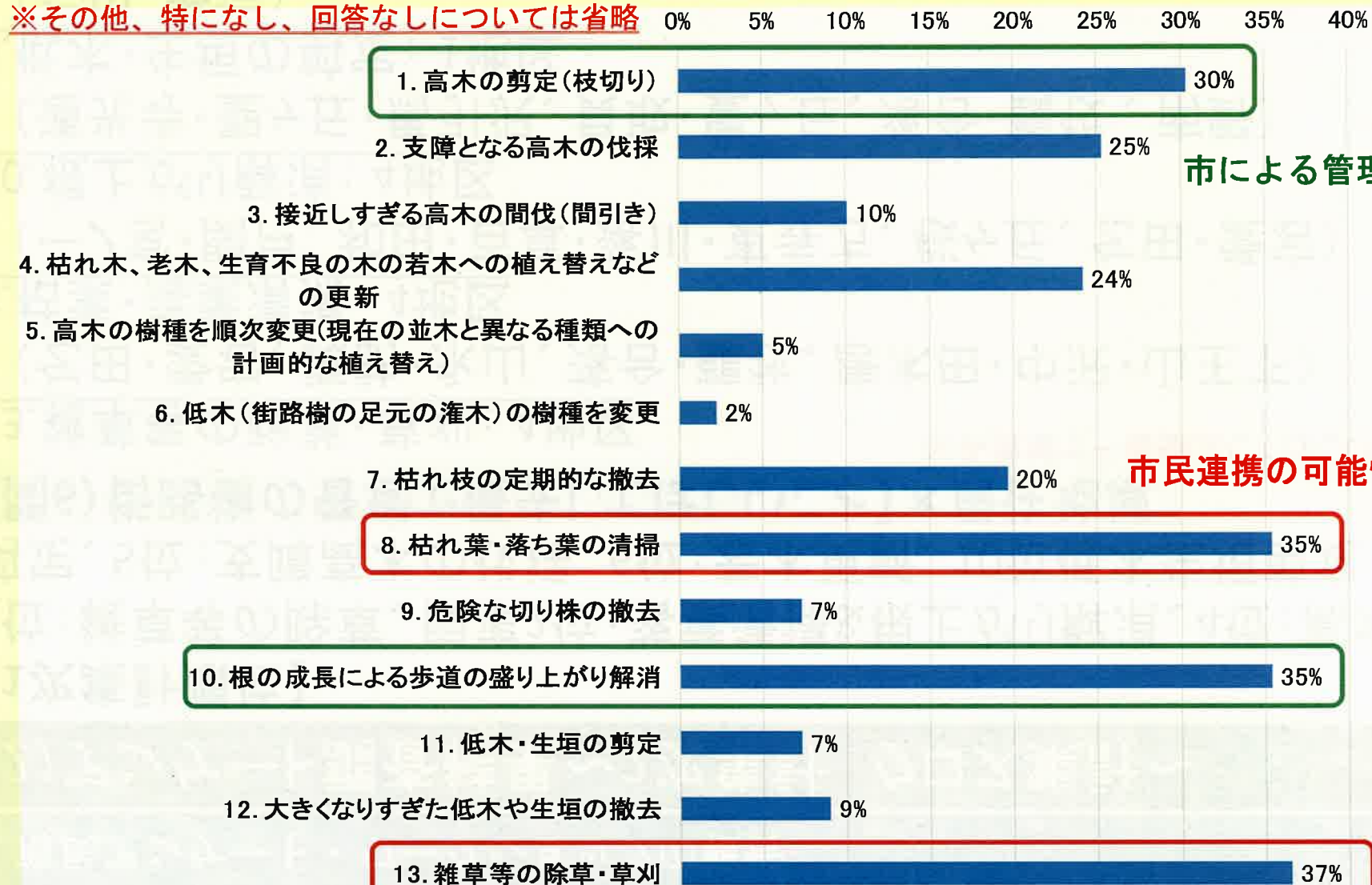
5.うっそうとして暗い: 2地区 (乞田・愛宕、落合・鶴牧)

2. 市民アンケート・ワークショップの報告

(2) アンケート調査結果～1次集計～

【問6) 街路樹の管理で優先してほしいこと(複数回答:3つまで)】

※その他、特になし、回答なしについては省略



2. 市民アンケート・ワークショップの報告

(2) アンケート調査結果～2次集計 クロス集計～

【1次集計順位】

1位:雑草等の除草、同率2位:落葉清掃&根上がり解消、4位:高木剪定、5位:支障高木の伐採、6位:若木更新、10位低木生垣剪定

【問6)街路樹の管理で優先してほしいこと】×居住地域

13.雑草等の除草・草刈: 4地区

※各地域で一番優先してほしいこと

(乞田・愛宕、諏訪・永山、落合・鶴牧、唐木田・中沢・山王下)

8.枯葉・落葉清掃: 4地区

(一ノ宮・関戸、和田・百草・落川・東寺方、桜ヶ丘、乞田・愛宕)

10.根上がり解消: 4地区

(連光寺・聖ヶ丘・馬引沢、貝取・豊ヶ丘、落合・鶴牧、南野)

6.低木・生垣の剪定: 1地区

(乞田・愛宕)

【参考】

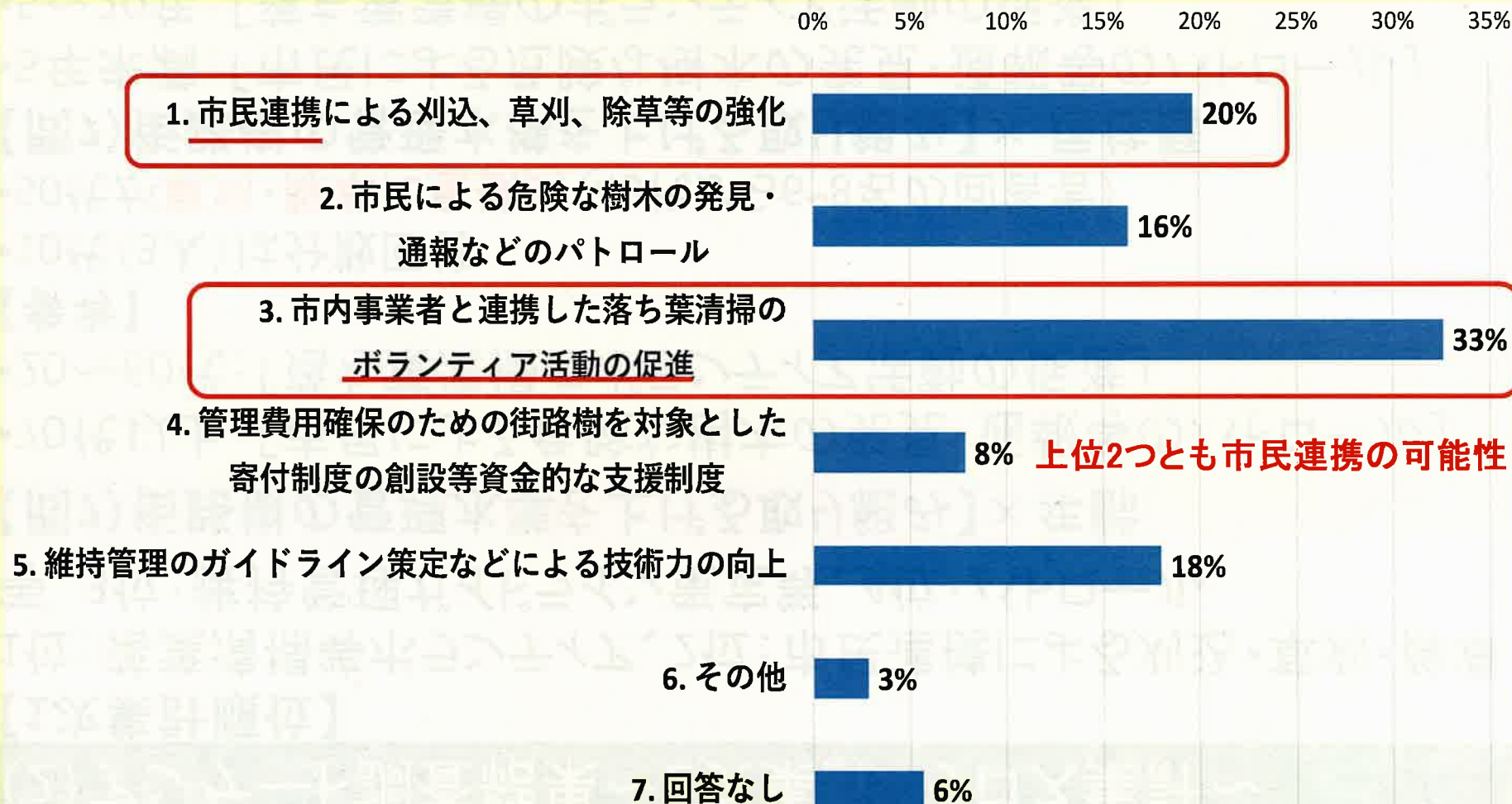
1.高木剪定: 3地区

(連光寺・聖ヶ丘・馬引沢、和田・百草・落川・東寺方、一ノ宮・関戸)。

2. 市民アンケート・ワークショップの報告

(2) アンケート調査結果～1次集計～

【問7）街路樹の管理水準を上げる取り組み】



⇒街路樹管理に市民が携わることに対して意欲的

2. 市民アンケート・ワークショップの報告

(2) アンケート調査結果～2次集計 クロス集計～

【1次集計順位】

1位: 落葉清掃等ボランティア、2位: 市民連携による刈込・草刈・除草等、3位: 維持管理ガイドライン策定等、4位: パトロール

【問7) 街路樹の管理水準を上げる取り組み】× 年齢

- ・70代以上: 「市民による危険な樹木の発見・通報等のパトロール」
- ・20～60代: 「落ち葉清掃のボランティア活動の促進」

【参考】

- ・10代(3人)は分散回答
- ・50代が**草刈・除草に意欲的**(40代から6～8名の回答者)

【問7) 街路樹の管理水準を上げる取り組み】× 居住暦

- ・5年未満: 「市民による危険な樹木の発見・通報等のパトロール」
- ・5～20年: 「落ち葉清掃のボランティア活動の促進」
- ・20年以上: 「市民連携による**刈込・草刈・除草等**」

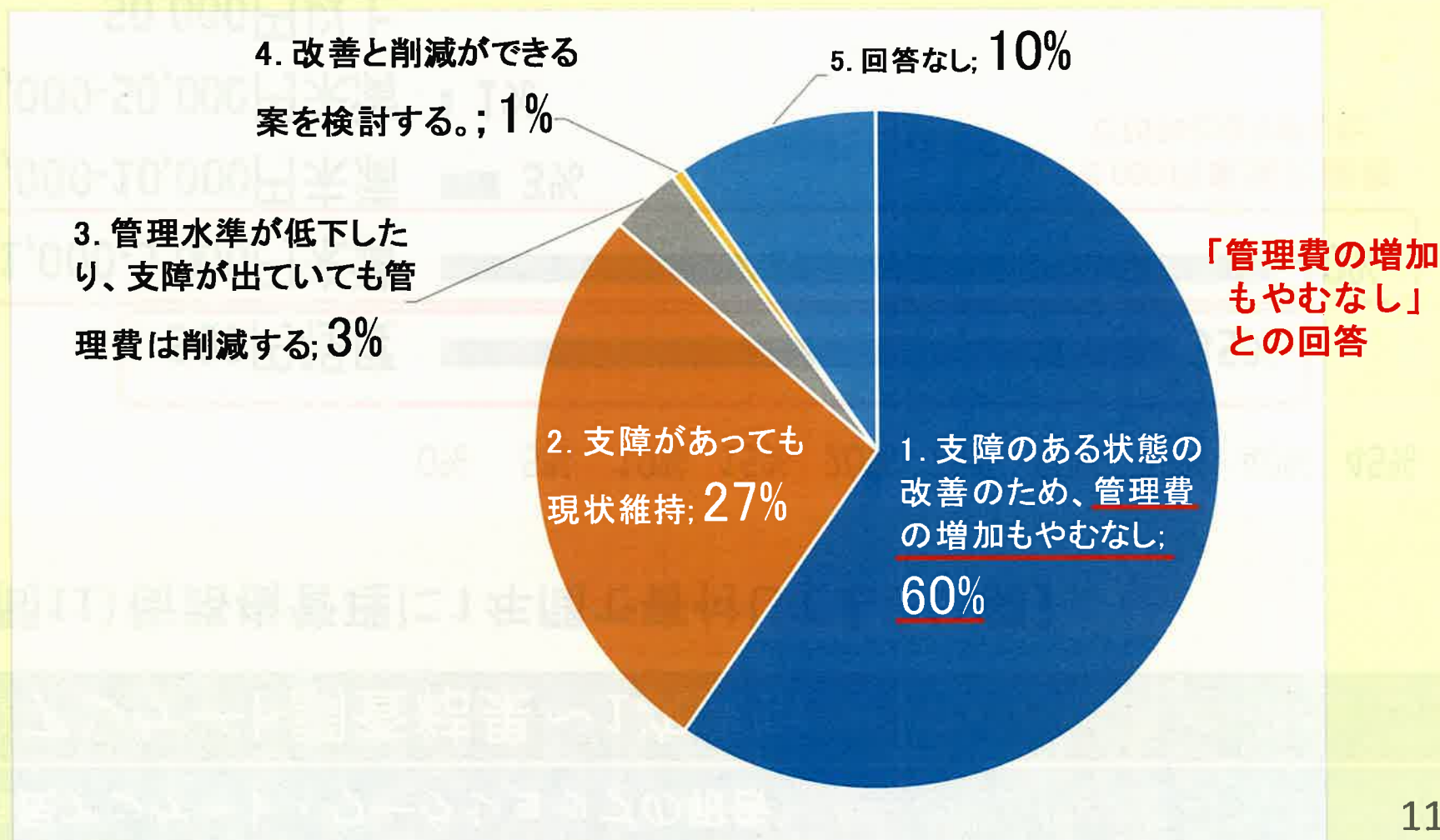
【参考】

- ・市民ボランティア促進との回答は、年代・居住暦に関わらず普遍的
- ・居住暦が長い人ほど**自主的取り組み(草刈除草等)に意欲的**

2. 市民アンケート・ワークショップの報告

(2) アンケート調査結果～1次集計～

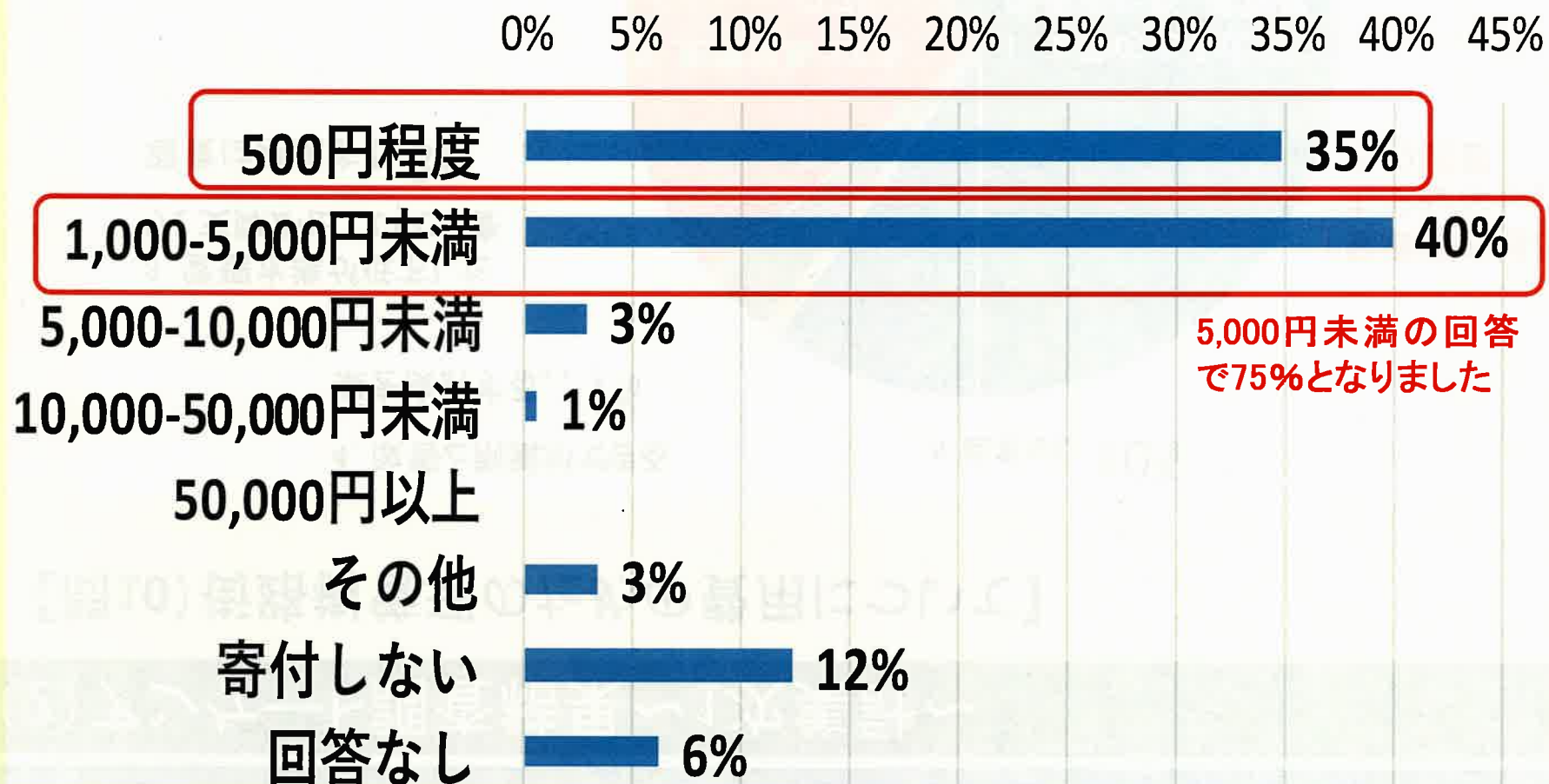
【問10) 街路樹管理のための費用について】



2. 市民アンケート・ワークショップの報告

(2) アンケート調査結果～1次集計～

【問11) 街路樹管理に1年間で寄付してもよい額】



2. 市民アンケート・ワークショップの報告

(2) アンケート調査結果～2次集計 クロス集計～

【問11) 寄付金額】× 年齢

- 10代: 寄付しない
- 20代、30代、70代: 500円程度
- 40代&50代&60代: 1000円～5000円未満

【問11) 寄付金額】× 居住暦

- 5～10年: 500円程度
- 5年未満、10年以上: 1000円～5000円未満

【参考】

- 20年以上: 500円<1000円～5000円(1票差)

⇒寄付については、40代～60代、居住暦が長い方が意欲的

2. 市民アンケート・ワークショップの報告

(2) アンケート調査結果～1次集計～

【問2、12)記載の多い通り】

【好きな通り・場所】

1位：乞田川沿い

2位：メタセコイア通り

2位：上之根大通り

4位：さくら通り

5位：聖蹟桜ヶ丘駅

【維持管理・植替え充実希望道路】

1位：鎌倉街道

2位：聖蹟桜ヶ丘駅

3位：乞田川沿い

3位：南多摩尾根幹線道路

5位：聖ヶ丘遊歩道

2. 市民アンケート・ワークショップの報告

(2) アンケート調査結果～2次集計 その他意見～

【問18) その他(自由記載)】

魅力	感謝好き	<ul style="list-style-type: none">・みどりが多く美しい・四季折々で花や紅葉を楽しむことができる。・住みやすい、魅力ある都市
	要望	<ul style="list-style-type: none">・美しい街路樹の現状維持・緑や自然を残してほしい
問題点	課題要望	<ul style="list-style-type: none">・大径木化や枝葉の繁茂による信号・街路灯の隠蔽・低木繁茂により歩道狭く通行障害・緑が無く照り返しが辛い
	苦情要望	<ul style="list-style-type: none">・鳥害、虫害対策・間引き、伐採、剪定要望
	提案	<ul style="list-style-type: none">・市民への資金・税金・ボランティアの促進 (自治会等との連携)・管理費用・更新・植替えの周知

2. 市民アンケート・ワークショップの報告

(2) アンケート調査結果

アンケート全体のまとめ

市民は街路樹に好意を持っている一方、
街路樹の問題である根上がりや落葉、
鳥害や虫害に困っている。

街路樹の管理の希望については、
現状維持が5割、管理水準の向上が4割であるが、
街路樹管理に対して約7割の市民が市民参加や
寄付に対して意欲的である。

2. 市民アンケート・ワークショップの報告

2) ワークショップについて

ワークショップ「多摩市の街路樹の魅力発見！」

(1) ワークショップの目的

参加市民の方に現地見学、議論をいただき、街路樹の魅力や課題を提示してもらい、プランの改定に反映する。

(2) ワークショップのテーマ

- ・まち歩きを通じて多摩市の街路樹が有する魅力と課題を発見
- ・市民が考える街路樹の将来イメージの抽出

表 ワークショップの開催概要 (参加人数:7~15名)

回数	開催時期等	実施項目
第1回	12月3日(日) 9:00~12:00	・街路樹の現状説明 ・専門家講義(街路樹の魅力と課題、管理技術) ・関心のある通りや樹種、木の状態に関する意見交換
第2回	12月10日(日) 9:00~12:00	・現地見学(諏訪、永山地区)・専門家講義(街路樹の効果) ・街路樹の魅力と課題・将来像に関する意見交換
第3回	12月16日(土) 9:00~12:00	・専門家講義(過去と海外から街路樹を考える) ・「次世代に継承する」街路樹の将来像、街路樹の改善に向けた市民の関わりに関する意見交換・まとめ

2. 市民アンケート・ワークショップの報告

第1回ワークショップ ディスカッションによる意見のまとめ

【関心の高い通りや樹種】

メタセコイア通りのメタセコイア、乞田川沿いのサクラ、上之根大通りのモミジバフウ、和田地区のハナミズキ

【多摩市の街路樹に対する指摘事項】

- ・街路樹の健全な育成や治安・生活の日照確保のため、**剪定や間伐等が必要**
- ・根上がりや大量の落ち葉による**通行障害**
- ・市の多くのみどりを管理するには**市民の協力が必要**
- ・木の状態や剪定方法等を**看板や広報等で周知してほしい**
- ・**管理しやすい樹種を選定してほしい**

【そのほかのご意見】

- ・街路樹の本数の減少、木の悪化状況について周知してほしい
- ・市民の協力を得るには、市民の意見を取り入れることが必要
- ・木の実が落ちていてわくわくする、宝野公園は桜並木など景観が良い
- ・棒のようになった剪定が見られる

2. 市民アンケート・ワークショップの報告

第2回ワークショップ ディスカッションによる意見のまとめ

【街路樹の魅力】

みどりが多く感じられる、歩いていて気持ちが良い

【街路樹の将来像】

- ・緑量を確保しつつ、日中暗い箇所や電線と接触する枝の整理、健全木生育のための本数調整
- ・管理しやすく、四季や花を楽しめる街路樹の魅力の向上
- ・中低木の剪定や落ち葉清掃等、可能な範囲で管理への市民参加
- ・市民と市の連携、「線」から「面」の管理に
(用具の貸し出し、街路樹関連イベント開催等の工夫)

【そのほかのご意見】

- ・狭い歩道の植樹帯撤去により歩道を広げる効果を感じた
- ・街路樹の状態を知る着目点がわかった
- ・ニュータウン地区(永山・諏訪地区)は街路樹が充実していると思う
- ・街路樹により街路灯が隠れる箇所は、防犯上伐採するのは仕方ない
- ・公園や団地の樹木と街路樹の競合箇所は関係者調整してよいのではないか

2. 市民アンケート・ワークショップの報告

第3回ワークショップ ディスカッションによる意見のまとめ

【次世代に継承する将来像】

- ・散歩して楽しい・癒される・四季を感じる・安全できれいな広いみち
- ・街路樹がケンカしないまち
→公園と街路の木のリバランスが取れ、木が自由に育つことができる環境
- ・街路樹を住民が管理できるまち
→多摩市民全体が市のみどりに関わる「みどり時間」等を設ける
- ・街路樹に対する理解のあるまち、誇れるまち
→街路樹の魅力、効果、管理の必要性を教育・伝承する仕組み
- ・マイツリーのあるまち
→記念樹の植樹や樹名板の設置による観光地化、市民が主体的に管理

【市民の関わりについて】

- ・小さなことからスタート→落ち葉や剪定枝を活用したイベント
- ・区間や対象の明確化→寄付やボランティア活動の対象の明確化
- ・街路樹への理解、後継者の育成
→小・中学校等の環境教育で街路樹を取り扱い「ファン」を作っていく

ワークショップの成果

街路樹に対する理解

- ・ 街路樹の魅力や問題点、適切な管理のあり方等の理解

将来像・市民参加意識の共有

- ・ 多摩市の街路樹の将来像と改善に向けた市民参加の意識共有

